

演 題 「花と昆虫の深くて長い歴史—なぜいろいろな花があるのか—」

講 師 塚田 森生 氏 三重大学大学院生物資源学研究科准教授

入場無料

花と言えば桜ですが、地球上には色も形も香りも本当に様々な花があります。どうしてでしょう？これを知るためには、花がだれのために咲いているかを考える必要があります。ミツバチが花粉を運ぶのは有名ですが、この仲間は化石から考えて約 3000 万年前に出現したと考えられます。一方、花らしい花をつける被子植物はミツバチの 1 億年前には出現しています。つまり、昔からある花は、ミツバチ以外に向けて花を咲かせているのです。そんなちょっと古い花を中心に、様々な、花と昆虫の間の、それぞれ特別な関係をご紹介します、生き物の進化や多様性保全の意味を考えてみます。

日 時 令和 3 年 5 月 2 2 日 (土) 13:30~15:00

会 場 津リージョンプラザ 1F 中央保健センター待合ホール
津市西丸之内 23-1



主 催 津市・津市民文化祭実行委員会

主 管 津文化協会

後 援 三重大学 三重ふるさと新聞社

？「発見塾」ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/index.html>

連絡先 TEL 090-1236-1144 (辻本 當)

※津文化協会では会員を募集しています。

当協会事務局または？『発見塾』開催時、受付までお申込み下さい。

※感染症等予防ためご来場の際は手指のアルコール消毒、咳エチケットマスク着用、検温等にご協力ください。

※講演会が中止になった場合は津市ホームページ、上記発見塾ホームページ等でお知らせします。

※講演会会場は土足禁止になっています。履物の収納は会場入り口設置の下駄箱をご利用ください。